

平成28年3月31日付けでカルタヘナ法に基づき承認した遺伝子組換え農作物(第一種使用規程)

作物名	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					パブリックコメント回答掲載日	承認日	(参考)他の安全性の確認状況	
		隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用			食品安全性(食品衛生法)	飼料安全性(飼料安全法)
イネ	スギ花粉ポリペプチド含有イネ(<i>GluA2-F1</i> , <i>GluB1-F2</i> , <i>GluC-F3</i> , <i>SH-Cry j 2</i> , 改変 <i>ALS</i> , <i>Oryza sativa</i> L.) (OsCr11) 【国立研究開発法人農業生物資源研究所】	○					H28.3.31 (回答は、こちらから)	2016年3月31日	—	—
トウモロコシ	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキソアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ(<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , 改変 <i>aad-1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) <i>litis</i>) (MON89034 × <i>B.t. Cry1F maize line 1507</i> × NK603 × MIR162 × DAS40278, OECD UI: MON-89034-3 × DAS-01507-1 × MON-00603-6 × SYN-IR162-4 × DAS-40278-9) 並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【ダウ・ケミカル日本株式会社】		○	○	○		H28.3.31 (回答は、こちらから)	2016年3月31日	2016	2016
ワタ	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキソアルカノエート系及びグルホシネート耐性ワタ(改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>cry1Ac</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>aad-12</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) ((281 × 3006) × COT102 × DAS1910, OECD UI: (DAS-24236-5 × DAS-21023-5) × SYN-IR102-7 × DAS-81910-7) 並びに当該ワタの分離系統に包含される組合せ 【ダウ・ケミカル日本株式会社】			○	○		H28.3.31 (回答は、こちらから)	2016年3月31日	2016	2016
ワタ	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ(改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cry1Ac</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>bar</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (COT102 × 15985 × MON88701 × MON88913, OECD UI: SYN-IR102-7 × MON-15985-7 × MON-88701-3 × MON-88913-8) 並びに当該ワタの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。)			○	○		H28.3.31 (回答は、こちらから)	2016年3月31日	2016	2016

注1: 名称の()内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifierのことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位としてOECDに登録されている識別記号のことです。

注2: 名称の()内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3: 第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4: 「(参考)他の安全性確認状況」の欄は、食品衛生法に基づく食品としての安全性審査の手続きを経た年、ないし、飼料安全法(飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律)に基づく飼料としての安全性の確認がなされた年を示すものです。「—」は未確認を示すものです。ただし、非食用又は非飼料用については「不要」を意味します。なお、スタック系統については親系統で安全性を確認しております

参考1: 承認した遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報(http://www.biodic.go.jp/bch/bch_3.html)から検索できます。

参考2: これまでに承認した遺伝子組換え農作物のリストについては、こちらからご覧下さい。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/torikumi/pdf/list02_20160331.pdf